



ふじ美が原

富士見中学校

特集：始業式

「一歩を踏み出す勇氣」 「学校をリードする」 「最初にやる勇氣」

わたしの三本柱

一年二部 平岩 潤

私は、今日二年生というこれまでとは変わった立場になります。一年生の時は学校生活を送る上で、先生方や先輩が様々なことを教えてくれましたが、今度は私たちが先輩にたくさんのことを教える場になるということです。後輩に見られている、ということを実感し行動していきたいです。だからこれから出来るようにしたいことを三つ挙げます。

一つ目は人に優しく、自分に厳しくということですが、今までの私は、物事を友達や先生方に頼まれた時、心の中にはできないかもという不安があり、断ることが多かったんです。しかし一年の時に、このことは人に対して優しくないことだと感じてきました。これからは人から頼まれたことに對して、挑戦という思いで行動していきたいです。

で、自分の考えをなかなか発表することが出来ませんでした。だから今日から「一歩踏み出す勇氣」を持って行動していきたいです。挨拶、クラスでの発表等の機会で真っ先に声を出す自分を作り上げていき、たくさん自信が持てるようにしていきたいです。

三つ目はどんな状況でも対応できる人になっていきたいです。私は諦めてしまうこともたくさんありました。もちろん諦めることが大切です。一年生の時いろいろな状況に想定して最善策を考えることの大切さを経験してきました。自分の納得のいくものが見える形として出てくるようにしていきたいです。

また部活動の試合では、自分よりも強い人と戦う時があります。そんな相手と対戦する時でも、自分のやってきたことを信じて、あきらめないプレーができるプレイヤーになりたいです。この三つの事はどれも自分を強くすることに繋がると考えています。二年生になり、今までの自分より少し上の自分になれるよう、一つ一つが自分に課せられたチャンスだと考えて、自分に自信をつけていきたいと思っています。



三年生の決意

三年二部 平出 光晟

僕は今日から最高学年です。僕には最高学年として目指している姿が二つあります。

一つ目は積極的に挨拶をすることです。それを達成するために知らない方にも挨拶をしていきたいです。挨拶は人とコミュニケーションを取るための第一歩です。今コロナ禍の中、コミュニケーションをとる機会が減ってきています。でも挨拶なら交わすことができるし、目と目を合わせて通じ合うこ

とができます。

今年度は相手の目を見て挨拶することを特に意識したいです。部活動の時はもちろん、廊下で誰かとすれ違った時、登下校の時に挨拶できる自分でいたいと思います。



二つ目は委員会活動です。

僕は文化委員会に入っています。学校の三本柱である合唱をより良くすることが僕の目標です。委員会の話し合いの時間や反省などで、自分の意見をしっかりと伝え、少しでも企画・運営に参加できたらいいと思います。さらにクラスの合唱練習ではクラスの合唱部に大切な点を教えてもらいながら練習したり、音取りの練習を丁寧に行い、みんなで最後の合唱祭に向けて全力で向かっていきたいです。

この二つを意識して残り少ない中学校生活を過ごしていきたいと思います。そして卒業するときに三年間の中学校生活で自分が決めた目標をしっかりと達成し、悔いの残らない一年にしたいと思います。

校長先生のお話

令和三年度は、本日午後入学式を迎える新入生一三三名、二年生一三四名、三年生一一六名、計三八三名。教職員は四十九名で富士見中学校をスタートします。二年生は一年生の時の自分に、三年生は二年生の時の自分に別れを告げ、新しい自分を創るためにスタートする日です。

先程、二年生の潤さんは挑戦と勇気、あきらめないという抱負を、三年生の光晟さんは挨拶と合唱で学校をリードしていきたいという抱負を聞かせてくれました。二人ともスタートにふさわしい決意を聞かせてくれてどうもありがとうございます。

では、次に私の気持ちをお話します。先ほど発表した二人の生徒の話聞いて思ったことは、今日が新しいスタートの最初の日だからこそ、挑戦する気持ちをつくるのが大切だということです。

私も潤さんのいう通り挑戦するには勇気が必要だと思えます。潤さんは「一歩を踏み出す勇気」、光晟さんは「学校をリードする」と表現してくれまし

た。それでは、この「勇気」、どうやって出したらいいのでしょうか。

私なりの考え方ですが、それは「最初」にやるのです。どんなことでも、失敗をおそれず最初に自分がやればいいのです。

私はこれを「最初にやる勇気」と呼んでいます。誰かがやったあとにやるのは誰でもできますよね。「最初に」というところが肝心です。最初にやるには、自分で考え、自分で行動しなければ「最初に」とはなりません。また、失敗を恐れない気持ちも大事になります。誰かがやっているのを見て同じことをしてもいいですが、「最初」にやった人ほうが、格段に得るものが大きいのです。

具体的にどんなことが考えられるかというと、「最初に挨拶する」とか「最初に授業の準備をする」でもいいですね。他にも「最初に着席する」とか、最初だけでなく「片づけを最後まで見届ける」というのもいいです。

学校生活や生徒活動、部活動など、自分が今年、富士見中で頑張りたい場面を思い起こして考えてみてください。自分がすぐにできることや、やるのが

やさしい方がいいです。人と競争するのではなく、自分だけの決まり事として取り組んでみてください。

さて、この「最初にやる勇気」には、実は「取扱説明書」がついています。それにはこう書かれています。

「最初の勇気」は失敗がつきものです。そうになったら、次の言葉を思い浮かべてください。

「Try again

」だめだったらまたやればいい」という意味になるでしょうか。うまくいかなかったら、落ち込んで悩む前に「まっいいか、またやってみよう」と思って挑戦を続けてください。

と書かれています。取扱説明書を守り、「最初にやる勇気」を立てて、令和三年度をスタートさせましょう。



富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

担当 両角 太